



苦手な感想文が
仕上がったよ



どんな本を選んだのかな

全体の構成や読み手に伝わる表現を意識して、読書感想文に取り組む(講師 堀口純さん)

地域で学ぶ夏休み 楽しく宿題 交流の場

夏休みの宿題をサポートし、交流を通して思い出をつくらせてもらおうと、池田地区コミュニティセンターは、小学生を対象に読書感想文の書き方や陶芸教室などの講座を開きました。
問合せ 池田地区コミュニティセンター ☎23・9851



「〇〇ちゃんの昆虫のポスター格好いい」「みんなで取り組むと楽しい」。池田地区コミュニティセンターの夏休みは、楽しそうな笑い声があふれながらも、熱心に勉強や作業に取り組む子どもの姿がありました。

コロナ禍で出掛けられず、気持ちが暗くなりがちな夏休み。充実した休みを過ごしてもらおうと、同センターは子ども講座を企画しました。他の市町村の取り組みやこれまでの宿題の傾向を調べながら、前半は多くの子どもが苦手とする読書感想文やポスター、後半は水鉄砲で遊ぶ工作やリラックスできるヨガなど全12講座を設定。講師は地域住民や公民館時代から教養講座を担当していた人が、ボランティアで引き受けてくれました。

コミュニティセンターは公民館の生涯学習の場に「地域づくりの拠点」としての役割が加わり、地域が抱えるさまざまな課題に取り組むようになりま

した。同センターは6月、沼田市電子地域通貨 Tengoo を広めようと、高齢者を対象に講座を開催。センターの活動を紹介する広報紙「いけだコミセンだより」の回覧も始めました。今後は、子どもを対象にした防災キャンプ、遊びや軽食を楽しむ縁日など、地域のつながりをより意識できる取り組みに力を入れたいと考えています。

コミュニティセンターは、誰もが交流できる場を理想としています。同センターの小林信一所長は「雑談から地域づくりにつながるヒントを発見できたら。楽しいことはやってみようとなるし、困り事は一緒に解決しようとなる」と、人とのつながりがより地域を考えるようになると強調し、「皆さんがもっとこの地域を好きになってもらえたらうれしい」と語りました。

各地区コミュニティセンターの教室などは17ページをご覧ください